

機械器具（１２）理学診療用器具
管理医療機器 超音波プローブ用穿刺針装着器具 70448000
穿刺ガイド管 MP-2445

【警告】

本品のガイド下で電気手術器のニードルカニューレを使用する際は、ニードルカニューレの絶縁皮膜を損傷しないよう、ニードルカニューレの操作を慎重に行うこと。
〔電気手術器のニードルカニューレを本品に挿入する際及び本品に沿って出し入れを行う際、ニードルカニューレ上の絶縁皮膜を破壊させ、破損部周囲の組織に熱傷を引き起こす可能性がある。〕

【形状・構造及び原理等】

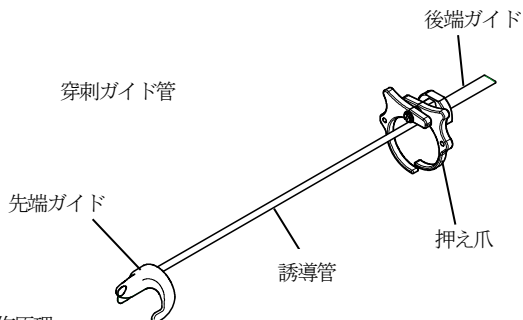
1. 構成

- ① 穿刺ガイド管 MP-2445-□
□印は穿刺ガイド管本体形名および適用穿刺針サイズを示す
G14、G16、G17、G18、G19、G20/G21、G22 の 7 種類
(SET の場合は G16、G18 が付属)
・付属品（穿刺ガイド管洗浄ブラシ(M)、穿刺ガイド管収納トレイ、収納ケース）

2. 体に接触する部分の原材料

- ・ステンレス

3. 外観図



4. 動作原理

超音波診断用プローブに取り付け、穿刺ガイド管の誘導管にて
刺入経路を形成することにより穿刺方向を固定する。

【使用目的又は効果】

超音波プローブに固定し、穿刺針を装着するために用いるものである。

【使用方法等】

1. 使用方法

- 日常の始業点検（外観検査等を行う）
- 機器の洗浄・滅菌を行う。
- 超音波診断用プローブ先端に音響媒体を塗布し、人体開口部用超音波プローブカバー（ラバーブーツ）を被せる。
- 機器を接続可能な超音波診断用プローブに正しく取付ける。
- 超音波診断用プローブを汎用超音波画像診断装置の所定の接栓座へ接続して適切な動作状態に調整する。
- MP-2452 用の穿刺ガイドラインをモニタ上に表示させる。
- 機器を観測したい被検者の人体開口部へ挿入する。
- モニタ上の超音波画像で、穿刺対象となる部位の位置およびその周囲の部位を十分に観察し、穿刺経路に穿刺対象外の臓器等がないことを確認する。

- 超音波画像で穿刺針エコーを確認しながら穿刺針を進める。
- 穿刺針が穿刺対象に刺入したことを確認する。
- 穿刺針を被検者から抜く。

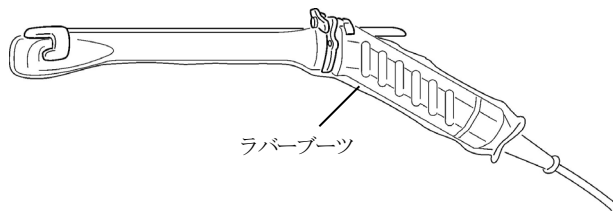
2. 組み合わせて使用する医療機器

本機器は、以下の超音波プローブと接続して使用のこと。

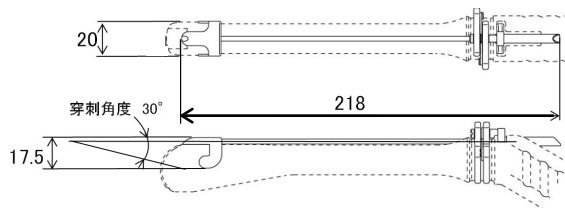
販売名	*認証番号
経膈電子コンベックス探触子 UST-984-5	20700BZZ00883000
経膈電子コンベックス探触子 UST-981-5	20700BZZ00948000
C41B プローブ	226ABBZX00067000

** 製造販売業者：富士フイルム株式会社

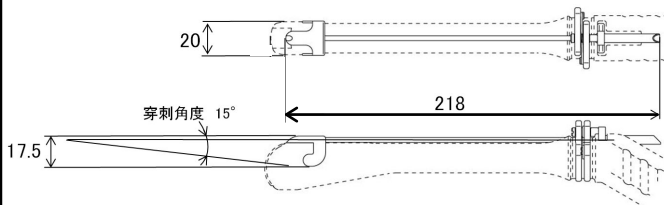
<ラバーブーツ取付け図>



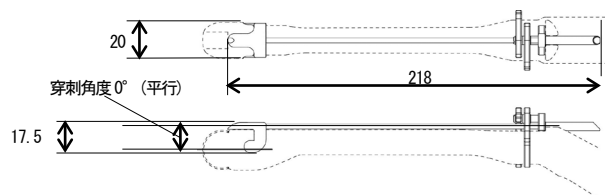
<UST-984-5 取付け時寸法図>



<UST-981-5 取付け時寸法図>



<C41B プローブ取付け時寸法図>



寸法許容差：±10%

単位：mm

使用時の状態

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 使用前に 40℃の温水にて針エコーが穿刺ガイドラインと一致することを確認すること。
2. 取扱説明書に従って、洗浄・滅菌を行うこと。
3. 穿刺に使用する器具（超音波診断用プローブ、穿刺ガイド管、人体開口部用超音波プローブカバー（ラバーブーツ）、針等）は、必ず洗浄・滅菌してあることを確認すること。
4. 穿刺ガイド管本体を超音波診断用プローブに正しく取り付けること。
5. 穿刺を行う前に、被検者の各部位の状態をよく確認すること。
6. 画面上の穿刺ガイドラインは穿刺針の刺入方向の目安として使用し、画像の穿刺針先端エコーを常に確認すること。
7. 穿刺ガイド管に表示された適用針ゲージサイズを確認し、

該当する穿刺針を使用すること。また、同ゲージサイズでも、各穿刺針メーカー毎、各製品毎に径が異なることがあるため、穿刺針が針ガイドを通ることを確認すること。

8. 穿刺の際は、針の操作を慎重に行い、針の刺入経路を常に確認すること。
9. 本品のガイド下で電気手術器のニードルカニューレを使用する際は、使用前に必ずニードルカニューレ装着面に破損等がなく、スムーズに移動することを確認の上、慎重に操作すること。
10. 曲がった針は使用しないこと。
11. 使用中の無理な操作は行わないこと。
12. エコーゼリーは使用しないこと。音響媒体が必要な場合は、滅菌された生理的食塩水を使用すること。
13. 接続可能な超音波診断用プローブ以外の製品と組み合わせで使用しないこと。
14. 被検者の金属およびラテックスに対するアレルギーを事前に確認のうえ本機器を使用すること。
15. 人体開口部用超音波プローブカバー（ラバーブーツ）はディスプレイのため、再使用はしないこと。

その他の注意

保管時に押え爪は、閉じた状態にしておくこと。

押え爪は、長時間開いたままにしておくとばね力が低下し、破断する恐れがある。

【保管方法及び有効期間等】

耐用期間：3年（自己認証（当社データ）による）

【保守・点検に係る事項】

*（使用者による保守点検（日常点検））

- 1) 目視による点検
 - (1) 外観の確認

外観に異常がないことを確認すること。

 - ・本品、付属品等に損傷や磨耗がないこと。
 - (2) 清浄性の確認

清浄な状態であることを確認すること。

 - ・本品、付属品の洗浄・消毒方法は、取扱説明書等の指示に従って行うこと。
- 2) 機能の確認
 - (1) 正常状態の確認

本品の正常状態・正常動作を確認すること。

詳細は取扱説明書を参照すること。

（業者による保守点検）

定期点検を弊社又は弊社の指定する業者に依頼すること。

点検項目	頻度
安全点検	1回/年

詳細は取扱説明書を参照すること。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

富士フイルム株式会社

TEL:0120-771669

販売業者

富士フイルムメディカル株式会社

TEL:0570-02-7007（ナビダイヤル）